

主な学校伝染病一覧

●出席停止となる伝染病

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止となる伝染病です。かかったら学校に報告し、医師の許可があるまで登校できません。

<第1種学校伝染病>

病名	出席停止期間
エボラ出血症 クリミア・コンゴ出血熱 重症急性呼吸器症候群 (SARS) 痘そう 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎	治癒するまで

<第2種学校伝染病>

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	解熱後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、咽頭痛 全身倦怠感、嘔吐、下痢	飛沫感染	1~2日	発病後 3~4日	うがい、手洗い。 マスク。予防接種	冬 12~3月
百日咳	特有の咳が消失するまで	のどの発赤 独特な咳	飛沫感染	6~15日	発病後 28日	予防接種	夏
麻疹 (はしか)	解熱後3日を経過するまで	高熱 発疹	飛沫感染	10~12日	発疹の5日前 ~後4日間	予防接種	冬~春
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺の腫脹が 消失するまで	耳下腺の腫脹	飛沫感染	14~24日	発病7日前 ~発病後9日間	予防接種	冬~春
風疹 (3日ばしか)	発疹が消失するまで	バラ紅色の発疹 リンパ節の腫脹	飛沫感染	14~21日	発疹の7日前 ~後7日間	予防接種	春~夏
水痘 (みずぼうそう)	すべての発疹が 痂皮化するまで	紅斑、丘疹、水疱、膿疱、 痂皮の順に進行する発疹	飛沫感染 直接感染	11~20日	発疹の1日前 ~後6~7日間	ワクチン	冬~春
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状消退後 2日を経過するまで	発熱 咽頭炎、結膜炎	飛沫感染 結膜接触	5~7日	発病後 2~3週間	水泳後、流水で洗 う。水泳禁止。	夏~秋
結核	伝染のおそれがないと認める まで。	肺に病変を起こすことの多い 全身性感染症	飛沫感染	1~2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見	なし

<第3種学校伝染病>

腸管出血性 大腸菌感染症	病状により医師によって 伝染のおそれがないと 認めるまで。	激しい腹痛、下痢、血便	経口感染	4~8日		トイレ消毒。食品 の加熱。手洗い。	春~夏 5月頃
コレラ		下痢、嘔吐、脱水症状		数時間 ~3日		手洗い。流行地で生水・ 生食品等を口にしない。	
細菌性赤痢		発熱、腹痛、下痢、嘔吐		1~5日			
腸チフス		持続する発熱、発疹(バラ疹)		1~2週間		手洗い。流行地で生の食 品等を口にしない。	
パラチフス		腸チフスと同じであるが症状が 軽い。					
流行性角結膜炎		涙、目やに、異物感 結膜の充血		結膜接触 汚染物		1週間 以上	発病後 2~3週間
急性出血性 結膜炎	充血、出血	結膜接触 汚染物	24~ 36時間	発病後 5~7日間	水泳禁止。手洗い。 タオルの共用しない。	夏	

●出席停止でない伝染病

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止ではありませんが、医師の指示に従い、適切な治療を受けて下さい。

病名	登校基準	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染期間	予防方法	好発季節	
溶連菌感染症	治療後24時間経て、全身 状態がよければ登校可能。	扁桃炎などの上気道感染症、 皮膚感染症など多彩な症状	飛沫感染	2~4日	治療開始 後24時間	うがい、手洗い。		
ウイルス性 肝炎	A型 肝炎	発病初期を過ぎれば感染力 は低下する。	発熱、頭痛、嘔吐、腹痛 黄疸	経口感染 二次感染	4~7週間	発病初期	手洗い。 なまものはさける。	
	B・C型 肝炎	出席停止の必要はない。	発熱、だるさ、嘔吐、下痢 黄疸	血液感染	40~180日		血液にふれない。	
手足口病	発熱や口腔の水疱・潰瘍の ある間は感染する。解熱し て元気になれば登校可能。	発熱、口腔・咽頭に痛みを伴 う水疱・潰瘍、手・足の末端 や背部に発疹・水疱	飛沫感染	2~7日	症状の ある間	手洗い。 おむつと保育者の 手の消毒。	夏	
伝染性紅斑 (リンゴ病)	発病に気づいたときは感染 力はない。	頬の紅斑 手足伸側にレース状紅斑	飛沫感染	17~18日	発疹の1~2 週間前の数日間		冬~春	
ヘルパンギーナ	感染は発症後2~3日。解 熱して元気なら登校可能。	突然の発熱 咽頭の発疹・水疱・潰瘍	飛沫感染	2~7日	発病後 2~3日間	外出をさける。	夏	
マイコプラズマ 感染症	急性期が終わり、症状が改 善すれば登校可能。	ひどいしつこい咳	飛沫感染	2~3週間	急性期	マスクをする。		
流行性 嘔吐下痢症	症状が回復し全身状態が よくなれば登校可能。	突然の嘔吐・下痢 便が白くなることもある	経口感染 飛沫感染	1~3日	症状が ある間		冬	

\*下の一覧にあげた病気は、出席停止の必要はありません。登校しながらの治療が可能です。

アタマジラミ	出席停止の必要はない。	頭のかゆみ		1ヶ月 程度		タオル・くしの 共用をしない。	
ミズイボ (伝染性軟属腫)	出席停止、水遊びの禁止の 必要はない。	体幹・四肢に生じる半球状に 隆起し、中心が凹んだいぼ	直接感染 間接感染			ビート板・タオル の共用をしない。	
伝染性膿痂疹 (とびひ)	出席停止の必要はない。	紅斑、膿水疱、びらん、痂皮 をつくる皮膚感染症	接触感染	2~10日		水泳禁止。 皮膚に触れない。	夏

\*すべての疾患において感染予防のための注意が、児童・生徒に差別的な感じを与えないように、十分注意してください。